



くまののみや

謹賀新年

コロナ禍を一日も早く克服し、
平穏な日々が戻りますよう
お祈り申し上げます。

旧臘の初旬、境内でお会いした
数名の方が「熊野大社へ参拝しま
したが、これから以前知人に聞い
た当神社の歴史を訪ねて旧社地の
上の宮跡や熊野山を巡拝し、熊野

一つの祈り方

熊野大社宮司 熊野高裕

大神様よりさらにお陰を戴きた
い」とおっしゃいました。今は人
によって独特の参拝方法で参拝し、
信仰を深めようとなさることも多
いのかと心に残りました。

熊野大社のご祭神や鎮座地の在
り様を歴史に追ってみますと、古
代に熊野大神（素戔嗚命）様一神
を祀る熊野大社は現在の熊野大社
より上手（南方）三軒の熊野山に

令和3年1月
第118号
出雲一宮
熊野大社
崇敬会

日常の五つの心

1. 「ハイ」という素直な心。
2. 「すみません」という反省の心。
3. 「オカゲサマ」という謙虚な心。
4. 「アリガトウ」という感謝の心。
5. 「ワタシガシマス」という奉仕の心。

ありましたが、時代とともに里へ
降っていきました。中世からは今
の熊野大社の上手五百米に上の宮、
また現在の熊野大社を下の宮とす
る二社祭祀の形態をとり、上の宮
は和歌山県の熊野信仰の影響を受
けた神社で「熊野権現」「熊野二社」
と呼ばれ、また下の宮は三重県の
伊勢神宮の伊勢信仰の影響を受け
た神社として「伊勢宮」ともいわ
れていました。近世史料の『雲陽

誌』によれば、上の宮では速玉之
男、事解之男、伊弉冉尊の三神を
祀り、下の宮では天照大神、素戔
嗚命、五男・三女神を祀っていた
とあります。明治期になると、明
治四年（一八七二）にご祭神を熊
野大神様とする下の宮を本社とし
神社整備が行われ、明治四十一年
（一九〇八）に元上の宮の諸社を
本社へ合祀、現在に至っています。

現在、元上の宮の各神社跡には社
号を記した石柱が立てられています。
す。
そもそも参拝者の申された巡拝
という言葉ですが、書籍をみてみ
ますと「神仏の功德を得、感謝し、
修行などの宗教的目的で、聖跡を
一定の順路で参詣すること、巡礼
ともいう」とあります。

この度参拝された方々の行動を
巡拝というのかは分かりませんが、
歴史古い熊野大神様の関係地、ま
たご神跡の旧社地をも巡り、時代
を想像したりしつつご神格やご神
徳の理解を深めて祈りを捧げるこ
とは、信仰の厚みの増し方が違っ
てくる大事なことと思えます。も
ちろん、これはあくまでも信仰を
重ねる一つの形であると思います。
どうか皆様方には、このことも
一例として参考になさって、それ
ぞれに今いっそうの熊野大神様へ
の祈りをこめられ、信仰の心を
益々固めていって戴ければと思い
ます。大きなお陰をお戴きになり
なりますよう念じ上げます。

令和二年を振り返って

熊野大社氏子会会長 石倉憲昭

新年明けまして

おめでとうございます

熊野大神さまの有り難い御縁によって、輝かしい新年を家族お揃いで、お迎えの事と拝察し、謹んでお慶び申し上げます。

年の始めに当り、令和の大御代を寿ぎ、御皇室のご繁栄と、氏子崇敬者の皆様方のご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和二年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年として、輝かしいスタートを切りました。

暖冬で穏やかな正月でありましたが既にその頃、新型コロナウイルス感染症の猛威はすぐそばに忍びよっていました。

二月以降は国内外において新型コロナウイルスによりパニックになりました。

初の緊急事態宣言が発令され、

不要不急の外出自粛、学校の休業要請等が実施された他、さまざまな事業イベント等が中止となり、経済への打撃も著しい年でありました。

神社におきましても。コロナ感染拡大によって伝統行事の中止、縮小、神事のみを行うケースが多く「伝統を絶やささない！」思いを込め神事に臨み、疫病退散、無病息災を願った一年でもありました。

新型コロナウイルス感染拡大により、東京オリンピック・パラリンピックが、中止や延期、規模縮小を余儀なくされ、これまでとは違う何かが動き出した年でもありました。

「新しい生活様式」が叫ばれる中、多業種が支え合いながら危機を乗り越え「希望に満ちた・笑顔の多い歳」になる事を願い年頭のあいさつといたします。



謹賀新年

令和三年元旦

宮司 熊野高裕

権禰 宜田中吉男

〃 〃 村尾俊樹

〃 〃 佐藤利哉

亀太夫 岩田晋

仕補 喜田久美子

〃 〃 安達ひろみ

〃 〃 岩田純子

伶人長 金崎民登

〃 〃 外伶人一同

責任役員 石倉憲昭

氏子会会長 恩田芳和

責任役員 白鹿喜久

〃 〃 神庭昭一

〃 〃 松原吉司

総代会 一同

奉賽婦人会 一同

氏子青年会 一同

天狗の会 一同

わらくの会 一同

自警団 清風会 一同

〃 〃 一同

新年のご挨拶

熊野大社崇敬会会長 岡崎朝臣

新玉の年を迎え、国運の隆昌、ならびに皇室の御安泰はもとより、氏子、崇敬者、各位のご多幸、ご発展を心よりご祈念申し上げます。

昨年来より中国武漢を発生源とするコロナが流行り、日本は元より世界中で猛威を振るって、人々の生活や経済に暗い影を落としております。

私もコロナの問題を人ごとのように軽く考えておりましたが、私が経営する高校のサッカー部で寮を中心に百人を超える日本最大級のクラスターが発生し、まさに寝耳に水の如き感が致しました。

コロナに罹らないように日ごろから三密を避け、換気の励行、手洗い、うがい、アルコール消毒等、ほんとうに徹底した衛生指導の基で日ごろの生活を送っておりましたが、それにも増してコロナの感染力は並外れて強

く、無症状者を含め、多くの感染者を出すことになってしまいました。

本校のコロナ感染がマスコミに報道されますと連日、新聞やテレビで取り上げられ、その報道を聞いた方々からの何件もの苦情電話に担当教員も対応し、インターネットでの「もうこの学校はつぶした方がいい」などという誹謗中傷の嵐を受けることになりました。

世の中は薄情と申しますか、県や市の「感染した人への誹謗中傷は慎んでください」という警告を無視して、とにかく感染したことに非をあげつらい、攻撃してきます。また、「本校の生徒が何処かでたむろしている」との流言飛語も飛び交い、地域の商店の方にも迷惑をかけました。

この様に誹謗中傷が多発する中「コロナに負けるな、がんば

れ」という励ましのメッセージを元サッカー日本代表本田圭佑選手を始め、青森山田高校やライバル校から頂きました。

また、全国の卒業生や支援者の方々から見舞金やマスク、消毒液、食料など数々の救済物資を贈って頂きまして、本当に感謝の気持ちで一杯になりました。

コロナに罹ったことに対して、とにかく誹謗中傷して攻撃してくる人々と優しくいたわりの言葉をかけ、中には励ましの言葉や救済物資を贈ってくださる人々、大神様の目から見ればどちらの人々が人間として素晴らしいのか一目瞭然でしょう。

とにかく我々は大神様に神習って、困った人々に対するいたわりの気持ちを持つことが肝要なのではないでしょうか。

コロナの中で人々が苦しむ中、我々は熊野の大神様、スサノオの神様のご神縁に今年も結ばれ、祈りも清らかに本年も報恩感謝の真を捧げて参りたいと存じます。

誠に有難うございました。

賀正

令和三年 元旦

熊野大社崇敬会

- 会 長 岡崎朝臣
- 副会長 石倉憲昭
- 理 事 川本貢功
- 坂本憲治
- 理事兼監事 幡好明
- 理 事 吉村博勝
- 藤井秀敏
- 小松昭夫
- 森田克己
- 青砥誠一
- 恩田芳和
- 白鹿喜久
- 神庭昭一
- 松原吉司

令和三年の干支

(皇紀二、六八一年)

辛丑絵馬

かのとうし

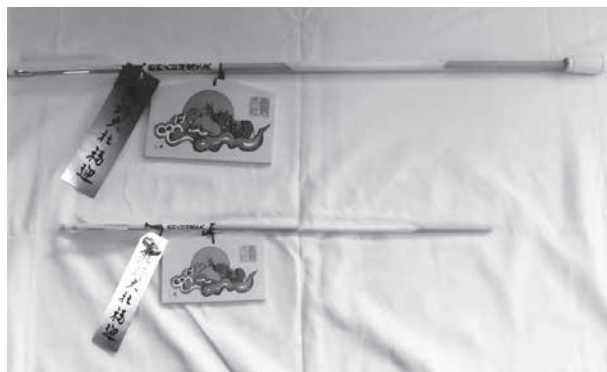
お頒ち料 (大) 八〇〇円
(小) 五〇〇円

〔今〕年は、丑年であります。清々しく新年をお迎えになり今年も健康で幸福な佳き年でありますようにご祈念の上、御社頭で授与いたしております。

この絵馬は「丑」年に因み大神さまから幸福の「ご縁」が戴かれますよう、造形作家の藤田丈氏が「まごころ」をこめて描かれたものでございます。



初詣・皇室の弥栄と世界の平和と人々の幸福のためにいのりましょう。



生々繁栄を祈願

熊手

お頒ち料 三、五〇〇円

〔熊〕手は本来穀物をかき寄せるものであります。その穀霊を人間の靈魂と一体化して考え、霊をかき寄せ人間の再生をもたらす幸福を得るという意味の縁起物とされています。

当社では生々繁栄、会社発展、商売繁昌、家運隆昌を祈願して授与いたしております。

開運招福・厄除 家内安全・商売繁昌

絵馬付

破魔生矢

お頒ち料 (大) 大絵馬付 二、〇〇〇円
(小) 小絵馬付 一、五〇〇円



〔家〕内安全、商売繁昌、開運招福、厄除を祈念いたしました「辛丑」の干支の絵馬付の

破魔生矢

をお受けになり「家庭」「会社」等にお祀りすることによって、悪魔を打破、邪気を退散させ、大神さまの「みめぐみ」を戴かれご家族の皆様がご健康でお幸福な日々をお過ごし下さい。
縁起物授与所でおわかりたいし
ております。

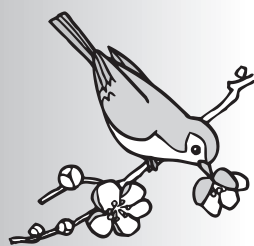
福運を迎える

福笹

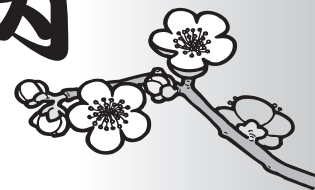
お頒ち料 一、〇〇〇円



〔家〕内安全、商売繁昌を祈念いたしてあります。
ご参拝の際お受けになり福運を戴き佳き年でありませうにいたしましょう。



節分祭のご案内



2月2日 節分祭 午前11時

祝祭日には国旗を掲げましょう。

二月二日（節分の日）午前十一時、「節分祭厄除招福諸願成就祈禱祭」を斎行いたします。

節分祭は正月と同じように、冬から春に移り変わる節目であります。心身共にすっきり清らかで、厄難を除き福運を戴くよう大神さまにご祈願をする大切なお祭りです。

この日「節分祭厄除招福諸願成就祈禱」を始め左記の「願いごと」をお取り次ぎいたしますので、ご祈念をおさめられまして、あわせのごえんを授かり健康で幸福な日々をお過しになりますようご案内申し上げます。

記

新型コロナウイルス感染症対策のため、本年は豆撒き神事を中止いたします。誠に残念ではありますがご理解のほど宜しくお願い致します。

一、願うこと

節分祭厄除招福諸願成就・家内安全・商売繁昌・交通安全・会社発展・従業員安全・厄除・縁結・進学合格成就・学業成就・安産・五穀豊穰・病気平癒・身体健康・海上安全・大漁満足・その他ご希望の願いごと

ご祈念料伍千円以上（一つの願いごとにつき）

同封の振替用紙をご利用になりお申込み下さい。又、ご参拝の折、ご社頭でも受付いたしております。

御祭神スサノオノ大神さまが蘇民将来に「茅の輪」を授けられ厄難を打ち払いお助けになったと云う故事に因み、除災招福、心気蘇生を祈願いたしました「節分祭茅の輪」を授与いたしております。



ご祈念のご案内

生命を与えて下さって日々ご守護を戴いている大神さまへ感謝の心をささげ、更に新しい生命力・御霊力を戴き、めまぐるしく変化していく現代社会を心惑うことなく正しく生きぬいていくことが出来ますように、秋のおおみまつりにご祈念のお取次ぎをいたしております。お申込み下さい。

一、ご祈念料 伍千円以上

（一つの願いごとにつき五、〇〇〇円以上です）

一、願うこと

家内安全。商売繁昌。良縁。会社発展。従業員安全。厄除。交通安全。五穀豊穰。安産。病気平癒。進学成就。諸願成就。海上安全。大漁満足。その他ご希望の願いごと。

一、ご祈念を希望されます方は同封の振替用紙に、ご住所、ご氏名、ご年令、ご祈念料を明記してお申込み下さい。

一、ご祈念をしたお守はお送りいたします。又ご参拝の際は受付所にお申し出下さい。尚、電話、ファックス、又ご希望の日、何時でも受付いたしております。当社へお問合せ下さい。

令和三年辛丑歳

新春初詣 五万人で賑わう

令和三年の新しい年を迎えようとする元旦の時を待つ人波は前日の大雪と新型コロナウイルス対策の分散参拝で例年になくまばらで数える程となった。午前零時に新春初神楽が奏でられると、一斉に拍手を打ち、今年こそは大神様のご加護で良き年でありますようにと熱心に祈る姿が見られた。拝殿では「新春祈禱」が執り行われ、午前六時、神社役員が代表で参列し歳旦祭を斎行し、国家の繁栄、世界平和、人々の幸福を祈った。

一月二日は午前八時三十分より舞初祭を斎行。小学校巫女は「幣舞」、中学生巫女は「浦安の舞」を優雅に舞い、今年一年元気で奉仕ができますようにと祈った。

本年三カ日間の人出は五万人に留まった。



神在祭

(十一月二十四日～十二月十日)

十一月二十五日(旧暦十月十日)

全国の八百万の神々をお招きし、神在祭を氏子、崇敬者が参列する中厳肅に奉仕した。本社で祝詞を奏した後、伊邪那美神社へ移動して祝詞を奏上し玉串を捧げた。

前日の十一月二十四日午後四時三十分には伊邪那美神社に設置した神籬に八百万の神々を迎える神迎祭を奉仕し、十二月十日午後四時三十分からは、お集まりになった神々をお送りする神等去出祭を奉仕し神在祭の期間を終えた。



八雲町出身

戦没者慰霊

平和祈願祭

(九月二十六日 午前十時)

八雲町出身戦没者の英霊をお慰めし平和祈願する祭典を八雲町内の神職・住職合同により本年は仏式優先で厳肅に斎行した。

コロナ対策の為、遺族関係者等参列を絞り場所を広くとる為、熊野館多目的広場にて慰霊碑を遙拝し執り行った。

導師の読経、斎主の祝詞奏上行われ、参列者らが焼香を行い、英霊のご冥福をお祈りした。



熊野大社崇敬会 入会のおすすめ

熊野大神の御神徳を奉戴し、敬神崇祖の誠を致し健全なる国民精神の高揚に努め広く国家社会の繁栄に寄与するを目的とし、その達成のため

- ①熊野大神の御神徳発揚の為祭典、神事、行事及び諸建宇整備と保持に奉賛。
- ②会員相互の親睦を計る為機関紙を発行。
- ③必要とする事業を行う。

一、会費

- 個人会費(年額)参千円以上
- 団体会費(年額)五千円以上
- 一、待遇

- (イ)会員誕生日は健康と繁栄和楽を祈願、日供祭は全会員の安寧を祈願します。
- (ロ)春秋大祭にご案内します。
- (ハ)新春神迎の「御神符」「千支の絵馬」をお届けします。

(ニ)会員章を差し上げます。
熊野大神さまから幸福のご縁が戴かれますようご入会のご案内を申し上げます。
お知り合いの方々へのご勧誘ををお願い申し上げます。

例大祭

(十月十四日 午前十時)

コロナ禍の中、感染予防を徹底して神社役員のみ参列のもと例大祭を斎行した。

修祓に続き大神さまへの御食御酒海川山野の味物をお供えする献饌の儀の後、大神さまのご守護に感謝する祝詞が奏せられた。次いで参列者代表の玉串拝礼が行われて、拝礼者はそれぞれ神前で深い祈りを捧げた。

例年神楽の奉納や餅撒き行事も行っているが、本年は祭典以外諸行事は全て中止とした。



鑽火祭

— 亀太夫神事 —

(十月十五日 午前十時)

出雲大社権宮司参向のもと鎮火祭— 亀太夫神事 —を斎行した。

出雲國造家の繁栄、日本国の陸昌、世界の平和、人々の幸福を祈念して祝詞が奏せられ、次いで出雲大社より「神餅」が奉獻されて当社社人亀太夫がこの「神餅」の出来栄えを篤と吟味した上、公事を述べた。そして「神餅」はご神前へお供えされ、鑽火器(燧白・燧杵)が授与された。次に出雲大社権宮司が大神さまのご神意に叶う神明奉仕を誓われ榊の小枝を両手に百番の舞を奉仕になった。

感染対策の為、本年は神社関係者のみの参列に制限し神事を斎行した。



一月・二月・三月

おまつりの日

一月中

一日 歳旦祭
二日 舞初祭

五日 奉賽祭

十五日 月次祭 奉賽祭

二十四日 祝年祭

二月中

一日 早旦祭 奉賽祭

二日 節分祭厄除招福諸願成就祈禱祭

当日午前十一時節分祭厄除招福祈禱祭を斎行。

十一日 建国記念祭

十五日 月次祭 奉賽祭

十七日 祈年祭

二十三日 天皇誕生日祭

二十八日 御狩納祭

三月中

一日 早旦祭 奉賽祭

十五日 月次祭 奉賽祭

中旬 御狩感謝祭

下旬 奨学祭 巫女交代祭

下旬 立志お祝いの祭

御狩安全祈願祭

(十月二十五日 午後二時)

大日本猟友会会長佐々木洋平氏をはじめ島根県下各地の猟友会々員が参列、また全国道府県別の猟友会等から沢山の御供が奉献され、今期の狩猟の安全と豊猟、五穀の豊穰を祈願した。例年直会には地

元の猟友会の皆さんが捕獲した猪肉で汁が饗されるが本年はコロナ対策の為直会は中止とした。

祭典後、

狩猟安全の
お守りを全
国の各猟友
会へお送り
申し上げた。



献 詠

松江短歌の会

米子市 青山 侑 市
末枯れたる黄の葉付けたる落花生を掘り起こしゆく薄ら日のなか

松江市 日野 和 久
立冬の光の中に葉をおとすアメリカカ楓にセーター羽織る

松江市 安部 歌 子
三十坪に家あり庭あり池もあり母を柱の暮らしのありき

松江市 福岡 美和子
吹くたびに赤や黄色の風の色ひらひら遊ぶ小春日の道

松江市 安部 洋子
水鳥がえぐる水面の黒々と静もりて湖はまた雨

松江市 福島 伸子
観光客の影一人無き大橋をやさしく包む秋の日差しが

安来市 川井 恭子
「痛いよ」とふ父の五分刈りの髪を握り肩車に見し夕焼けの空

新穀感謝祭

(十二月二十九日 午後二時)

コロナ対策で各地区の代表が参列し、大神さまの「お恵み」により豊かな収穫の秋を迎えたことに感謝、さらなる後五穀豊穰と幸福を祈って厳肅裡に斎行した。

今年是全国的に天候不順や自然災害の多い年であったが地元では大きな被害もなく豊作となり、献穀者は大神さまの「おかげ」と感謝の真心を捧げると共に米の消費量が低
迷する中、
安心して
米作りが
出来るよ
うに深い
祈りを捧
げた。



お煤払

(十二月二十日 午前九時)

年の瀬が近づき恒例のお煤払の神事を奉仕し、装束姿の神職が笹竹を持って御本殿をはじめ境内の

諸健宇のチリ、ホコリを払い除き、掃き清めた。

境内には特設の縁起物授与所、祈禱授付所、お守授与所、ご神酒授与所等が設置され新しい年を迎える準備が整えられた。

大祓・除夜祭

(十二月三十一日 午後四時)

感染対策のため、神社役員のみが参列し、一年の間に知らず知らずの内に身についた罪・穢を祓い清める大祓・除夜祭を斎行した。

今年一年間恙なく過ごさせて戴いた事に感謝を申し上げ、来る令和三年辛丑の新しい年も佳き年であるよう祈りをこめた。

